

「内科に入院された患者様の主治医の負担度調査」研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年9月20日～2020年6月30日

〔研究課題〕

内科系医療技術負荷度調査

〔研究目的〕

幅広い内科系の病気の種類毎の、治療担当医師の負荷(負担の度合い)を調査します。

〔研究意義〕

病気の種類毎の負担度を正確に評価することによって、病気の種類毎にどの程度の医療資源(人員・費用)を配分すべきかが明らかとなります。

〔対象・研究方法〕

2018年4月から9月までに循環器系疾患で当院内科に入院された方が対象となります。全国の医療機関から、まんべんなく病気の種類を選び、入院中の特定の1日の医療行為について、治療担当者の負荷の度合いについてアンケート調査を行います。

〔研究機関名〕

本研究は、内科系学会社会保険連合、日本内科学会、日本精神神経学会、日本小児科学会が合同で実施し、順天堂大学順天堂医院を研究代表機関とする多施設共同研究です。

〔個人情報の取り扱い〕

本研究は、「ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。調査結果は、病名と負荷の度合いのみを対象とし、個人情報と切り離して扱います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：古川泰司(教授)

所属：帝京大学医学部 臨床検査医学

住所： TEL:03-3964-1211(代表) [内線 32301]